

「中学生期の適切なスポーツ活動のあり方について（報告書）」 に対するパブリックコメントの結果について

スポーツ課

- 意見募集期間 平成 25 年 11 月 14 日（木）～平成 25 年 12 月 13 日（金）
- 意見提出者数 305（個人（287）・団体（18））
 - ・生徒 20
 - ・保護者 103
 - ・教職員 52
 - ・その他 130（学校 10、市町村教委 4、競技団体 1、地域社会クラブ 2、PTA 団体 1、その他 112）
- 意見総数 1,408 件

【報告書全般についてのご意見】（150 件）

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○趣旨の理解や周知等について（150 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一律の規制でなく、地域や学校、各部の実情に合うように。（同趣旨 33 件） ・生徒の意見を聞くべき。（同趣旨 30 件） ・現場の顧問の意見を聞くべき。（同趣旨 14 件） ・報告書のデータが恣意的、結論ありきの感が拭えない。（同趣旨 12 件） ・学校、教員、保護者、生徒への説明と周知が必要。（同趣旨 9 件） ・指針が徹底される仕組み作りが大切。（同趣旨 9 件） ・様々な立場からの意見による見直しの意義は大きい。（同趣旨 8 件） ・他県の例を参考にしたい。（同趣旨 6 件） ・早急に決めず、時間をかけて実施すべき。（同趣旨 5 件） ・運動部の適正化と同時に学力の向上を望む。（同趣旨 5 件） ・今の生徒が大切。早急に実施願いたい。（同趣旨 4 件） ・活動時間の制約でなく、指導者育成が急務。（同趣旨 4 件） ・「原則として～」では弱い。例外が出ないようにしたい。（同趣旨 3 件） ・顧問の意欲低下につながらないか心配。（同趣旨 2 件） ・運動部活動の見直しの経緯がよく分からない。 ・指針を「テキスト」にし関係者に配布して徹底したい。 ・部活動を充実させるという趣旨を前面に出すことが大切。 ・アンケート等は、抽出でなく全生徒にとるのが望ましい。 ・中学生が自分の生活スタイルを考える機会としたい。 ・土曜授業を考えて部活動も検討できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の中学生期のスポーツ活動を取り巻く様々な課題に対応していくためには、指導等に関わるすべての関係者が一旦立ち止まって考え、改善していくことが必要であり、そのためには各学校の判断の基となる一定の統一的な基準を示すことが必要と考えます。 ・指針の策定に向けては、お寄せいただいたご意見を踏まえ検討するとともに、学校関係者や市町村教育委員会等との意見交換を重ね、関係者との共通認識を深めながら進めてまいります。

【運動部活動の意義と運動部加入率の低下についてのご意見】（38件）

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○運動部活動の意義について（20件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝利至上主義によらない活動とあるが、勝利を目指す姿を否定するのはいかがか。（同趣旨6件） ・「挨拶」「礼儀」「規律」等、本来のスポーツとは別に学校教育の部活動で教えるべき課題がある。（同趣旨4件） ・意義の共通理解と意義に沿った活動を。（同趣旨3件） ・県教委が在り方や目指す姿を示すこと。（同趣旨3件） ・生徒の主体的な活動への転換を図るべき。（同趣旨2件） ・義務教育としての部活動の位置づけを前提とすべき。 ・勝利至上主義と生徒のニーズを生かした活動のバランスが難しく今後の課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを行う上で、勝利を目指すことや記録に挑戦することは自然なことですが、勝利のみを重視し、過重な練習を強いることのないよう、多様な生徒一人一人の達成感や満足感が得られる指導により、生徒の主体性を尊重した活動へとつなげていくことが重要と考えます。
<p>○運動部加入率の低下について（18件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過熱化が入部を避けたり、退部につなげたりしている。（同趣旨8件） ・地域のスポーツクラブや文化部への加入率が高いことが原因でないか。（同趣旨3件） ・今の活動に魅力がないから。活動の意義を考えるべき。（同趣旨2件） ・通学距離が長いことや小規模校が多いことが影響しているのではないか。（同趣旨2件） ・1年から2年にかけての退部者が多いことの検討が必要。 ・高校での加入率における検証が必要。 ・運動部活動の加入率の低下については、さほど大きな問題としてとらえることではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の運動部加入率が、年々低下していること、学年進行とともに低下すること、全国平均よりも低いこと等については、その要因は様々であると思いますが、中学生にとって運動部活動は、心身の健やかな成長等の面からも重要な活動であり、加入率の向上を目指した取り組みについて、今後、さらに検討してまいります。

【運動部活動の運営についてのご意見】（43件）

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○部活動の運営について（13件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週、練習試合等が多すぎる。（同趣旨4件） ・学業とのバランスを考えた運営を望む。（同趣旨3件） ・県外への遠征や合宿等が多すぎる。（同趣旨3件） ・保護者や生徒と話し合いにより運営方法を定めるべき。（同趣旨2件） ・年間計画や月間計画を立て、保護者へ周知すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校組織全体としての参画や生徒の思いをくみ入れた活動の展開など、運動部運営の充実に向けた取り組みについて、今後、さらに検討してまいります。

<p>○スポーツ活動運営委員会について (30 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、学校等の話し合いの中で運営方針を決めるべき。(同趣旨 7 件) ・地域の協力(専門知識を持つ外部指導者等)が得られるように検討が必要。(同趣旨 6 件) ・保護者の過熱ぶりについての検討が必要。(同趣旨 5 件) ・生徒にとって良い環境整備が必要。(同趣旨 4 件) ・各校の実情に合わせ具体的な運営方法を検討すべき。(同趣旨 2 件) ・地教委等の支援と連携で部活動が地域の社会体育活動に移行する方向も検討したい。(同趣旨 2 件) ・適切な活動となるようコントロールする機関であるべき。 ・組織強化と機能発揮についての具体的な内容や回数を説明してほしい。 ・中学生期の人口比率を考え、地域コミュニティ単位とした「中学校区」に設置が適当でないか。 ・県教委等のアドバイザーが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動運営委員会は、運動部活動の充実のため重要な役割を担う組織ですが、その機能が十分発揮できていない分野については、改善に向けた取り組みを、今後、さらに検討してまいります。
---	--

【運動部顧問や指導法についてのご意見】 (52 件)

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○顧問や指導法について (52 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧問の指導力向上が一層望まれる。(同趣旨 13 件) ・科学的トレーニングが必要。スポーツ傷害を招きかねない練習がある(同趣旨 8 件) ・体罰(暴言等も含む)について指導が必要。(同趣旨 5 件) ・現場で指導にあたるよう負担の軽減を。(同趣旨 4 件) ・教師の意識改革がないと改善は難しい。部活動による評価が過熱化につながっている。(同趣旨 4 件) ・勝利や結果も大切だが、多様な経験が必要。(同趣旨 2 件) ・指導経験が少ない顧問の研修が急務。(同趣旨 2 件) ・アスレチックトレーナーの派遣を。(同趣旨 2 件) ・クロストレーニング、複数種目実施の検討。(同趣旨 2 件) ・生徒の意欲や自主的活動を促す指導が必要。(同趣旨 2 件) ・練習の目的を明示した指導が必要。(同趣旨 2 件) ・外部指導者の活用を図り、指導の充実を。(同趣旨 2 件) ・得意でない生徒が達成感を味わえる指導法が必要。 ・合同チーム化や学年マッチを推進してほしい。 ・部活動による人事等も検討が必要。 ・生徒にニーズに応えるため、複数の顧問体制が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動が、適切で効果的に実施されるよう、指導力の向上や学校全体で顧問を支える体制づくり等について、今後、さらに検討してまいります。

【活動の基準についてのご意見】 (581 件)

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○活動の基準について (43 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動基準を設定することはよい。(同趣旨 14 件) ・活動時間は、競技性、練習形式、部員数、施設面等の条件が異なり一概に決められない。(同趣旨 4 件) ・生徒のやる気を損なう規制はいかがか。(同趣旨 4 件) ・定期テスト前には一定の準備期間が必要。(同趣旨 4 件) ・時間縮減は競技力の低下を招く。(同趣旨 3 件) ・大会前や季節等に対応できる柔軟な基準を。(同趣旨 2 件) ・家庭時間確保のため休日に必ず 1 日休みを (同趣旨 2 件) ・活動基準の科学的な根拠を示してほしい。(同趣旨 2 件) ・多くの活動は適正。過熱化している部を指導すればよい。 ・平日 2 時間程度は、技能の向上を目指す生徒には厳しい。 ・教育委員会主催の中体連の大会等が休日 2 日間開催のため、基準とは外れるのはいかがか。 ・土日の活動は、基本的には家庭の判断に委ねたい。 ・時間縮減が社会体育活動を過熱化してきた経緯がある。 ・山間地が多く都市部と事情が違うことを踏まえるべき。 ・論点が朝部活、社会体育に偏っている。1 日のトータルや年間を通した活動時基準であることの理解が必要。 ・休日の部活動が実施されることで手当てはでるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング効果を高めるためには、疲労を回復させる休養が大切であり、特に、心身の成長過程にある中学生にとっては、一定の活動基準を設けることで、スポーツ傷害予防や心理面の疲労回復のほか、バランスのとれた生活、生涯にわたりスポーツに親しむ習慣形成につながるものと考えますが、指針の策定に向けては、様々なご意見を踏まえ、今後、さらに検討してまいります。
<p>○朝の運動部活動について (538 件)</p> <p>《朝の運動部活動の規制について》 (145 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主参加で行うべき。(同趣旨 24 件) ・生徒の自発的な活動に規制は不要。(同趣旨 19 件) ・一律廃止でなく活動の幅を持たせるべき。(同趣旨 16 件) ・効率的な練習を行えば、朝練は必要ない。午後の時間を充実すべき。夏季は放課後だけで十分。(同趣旨 13 件) ・一部の早朝からの練習やハードな練習だけを規制すべき (同趣旨 12 件) ・生徒のやる気を損なうことになっている。(同趣旨 10 件) ・自主的な活動とは名ばかりで強制的な実態がある。(同趣旨 9 件) ・準備やアップのため、学校が設定した時間より早く登校していることが問題。(同趣旨 5 件) ・教員の負担が大きい。時間外勤務である。(同趣旨 5 件) ・大会前や冬季など必要な期間だけでよい。(同趣旨 4 件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の運動部活動は、心身の成長過程にある中学生にとって、ウォーミングアップやクーリングダウンの時間が十分にとれないこと、朝食から昼食までの間隔が空き過ぎることなどの課題があると考えますが、指針の策定に向けては、様々なご意見を踏まえ、今後、さらに検討してまいります。

- ・朝の運動でのメリットはなにか。(同趣旨 4 件)
- ・通年の活動をする必要を感じない。(同趣旨 3 件)
- ・生徒個々の事情が配慮されていない。(同趣旨 3 件)
- ・家庭と学校の話し合いで決めるべき。(同趣旨 3 件)
- ・中学生は部活をがんばることが当たり前(同趣旨 2 件)
- ・やりたい生徒がクラブへ流出して、さらに部活離れが進む。社会体育活動も過熱する。(同趣旨 2 件)
- ・競技により環境・安全面から朝でなければ活動できない場合がある。(同趣旨 2 件)
- ・朝の学習も行っている。それも廃止を考えるのか。
- ・他県でも普通に実施されている実態がある。
- ・学校や部活によって差がありすぎるのが問題。
- ・自主練とすることで、自立した選手が育つ。
- ・土曜登校にして平日の授業を減らし、時間を確保する。
- ・ストレッチやヨガ等を取り入れ、運動部以外の生徒の運動不足解消に期待。
- ・通学距離が長いことが問題。スクールバスの整備を。
- ・練習時間確保の工夫例を日課で示していただきたい。
- ・都会の中学生の生活をあてはめようとしている。

《朝の運動部活動の課題》(81 件)

- ・学習時間にも影響や不安がある。(同趣旨 12 件)
- ・早朝の活動での怪我や疲労が蓄積して健康に影響。
(同趣旨 10 件)
- ・早朝から保護者が送迎するのはおかしい。(同趣旨 9 件)
- ・遠距離通学が考慮されず早朝の登校が強いられる。
(同趣旨 9 件)
- ・睡眠時間に影響を及ぼしている。(同趣旨 8 件)
- ・授業への影響(居眠り等)が否めない。(同趣旨 7 件)
- ・朝の習慣作りをスポーツに求めるべきでない。
(同趣旨 6 件)
- ・朝暗いうちの登校、6:30 より前に家を出る 20%が問題。
(同趣旨 6 件)
- ・部活動に偏重しすぎている。テスト前にも活動がある等、
学習とのバランスが悪い。(同趣旨 6 件)
- ・家族で食事をすることができなくなった。(同趣旨 5 件)
- ・家族全員が早起き(小学生も)を強いられている。
(同趣旨 3 件)

《朝の運動部活動の効果》(72件)

- ・部活動を行う生徒の方が、そうでない生徒より学力も生活面もよい。(同趣旨 17件)
- ・早寝、早起きの習慣につながる。(同趣旨 13件)
- ・朝の運動は、脳が活性化して学習によい。(同趣旨 7件)
- ・長野県独自の良い活動である。(同趣旨 5件)
- ・小学校時に比べ、朝練で生活が向上した。(同趣旨 5件)
- ・放課後は会議等で顧問不在が多く、朝の指導は重要。(同趣旨 5件)
- ・放課後は生徒会活動等で生徒が揃わない。(同趣旨 5件)
- ・朝練をやってくる生徒の方が、朝食をとっている。(同趣旨 4件)
- ・朝の活動は疲労にならず、基礎的スキルには重要。傷害防止にもなる。試合も朝からあり、有効。(同趣旨 4件)
- ・忙しい毎日で、時間の有効活用を学ぶ機会。(同趣旨 3件)
- ・過保護にせず、朝の練習で強い人間を作る。(同趣旨 3件)
- ・スクールバス等の都合で7:20には登校。朝部活が有効。

《朝の運動部活動がなくなると悪影響が出る》(72件)

- ・朝寝坊、遅刻が増え、生活が乱れる。(同趣旨 40件)
- ・体力の低下や競技力の低下につながる。(同趣旨 14件)
- ・家庭学習時間の増加や学力向上にはつながらない。(同趣旨 13件)
- ・ゲーム時間等が増え、有効に使われない。(同趣旨 5件)

《朝の運動部活動と睡眠や学習不足は関係しない》(168件)

- ・スマホ、メール、ゲーム等が睡眠不足の原因でないか。(同趣旨 42件)
- ・報告書のデータから朝部活が原因とは言い切れない。(同趣旨 41件)
- ・中学生のライフスタイルや家庭の問題。(同趣旨 28件)
- ・睡眠不足は、就寝時間に問題がある。(同趣旨 14件)
- ・夜の社会体育が原因である。(同趣旨 9件)
- ・現行の朝の部活動に7割は満足している。(同趣旨 9件)
- ・朝の部活動と家庭学習は無関係。(同趣旨 9件)
- ・朝食との関連性はない。(同趣旨 8件)
- ・夜の塾通いが問題。(同趣旨 3件)
- ・授業中眠くなるのは、教師の授業に問題。(同趣旨 3件)
- ・昼食までの時間が空き過ぎるなら、給食時間を見直す。あるいは、間食を認める(同趣旨 2件)

【「運動部活動の延長として行われている社会体育活動」についてのご意見】(511件)

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○「運動部活動の延長として行われている社会体育活動について(511件)</p> <p>《生徒の負担が大きい。》(179件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜遅くまでの活動は、睡眠時間が減り、疲れを取る時間がない。心身の成長にも不安。(同趣旨 66件) ・家庭の時間がない。家庭学習の時間がない。テスト前も活動がある。学力にも影響する。(同趣旨 54件) ・休日がなく、拘束時間が長すぎる。(同趣旨 46件) ・生活リズムが悪い。(同趣旨 7件) ・地域の行事に参加できない。(同趣旨 3件) ・欠席できない状況(同趣旨 2件) ・習い事も辞めざるをえない。 <p>《保護者の負担と責任が大きい。》(72件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の送迎が負担。(同趣旨 25件) ・保護者の経済的負担が大きい。(同趣旨 16件) ・万が一の事故では、保護者の責任か。補償はどうなるか。(同趣旨 10件) ・保護者当番の負担が大きい。(同趣旨 9件) ・乗合での送迎で、交通事故が不安。責任はどうなるのか。(同趣旨 6件) ・弟や妹も含め、家族全体に影響がある。(同趣旨 6件) <p>《活動の見直しを行うべき。》(136件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導に一貫性がない。効率が悪い。時間をかけ過ぎ。練習試合をすればいいというものではない。(同趣旨 22件) ・運動部活動が活動しやすい条件設定を考え、部活動の範囲で行うべき。(同趣旨 16件) ・廃止を希望する。(同趣旨 15件) ・教員の負担が大きすぎる。(同趣旨 12件) ・義務教育にそこまで必要ない。勝利を追い求めすぎ。プロではない。(同趣旨 10件) ・半ば強制的に入らされている状況。(同趣旨 10件) ・学校や地域の実情に即して社会体育に移行すべき。地域スポーツクラブの設立を望む。(同趣旨 10件) ・部活動の隠れ蓑として教員が行う事に疑問。(同趣旨 7件) 	<p>・「運動部活動の延長として行われている社会体育活動」は、事故発生時の責任の所在が曖昧であったり、責任能力も十分とはいえないといった課題があり、見直しが必要と考えますが、指針の策定に向けては、様々なご意見を踏まえ、今後、さらに検討してまいります。</p>

- ・熱心な保護者や先生に従わざるを得ない。(同趣旨 7 件)
- ・部活動でないため、ルールが無用。(同趣旨 6 件)
- ・県外への遠征は中学生に必要なか。(同趣旨 5 件)
- ・部活動と社会体育に境目がない。(同趣旨 4 件)
- ・必然的に社会体育の人たちに合わせざるを得なくなる。
(同趣旨 3 件)
- ・学校や指導者の名誉のため、活動が過熱化している。
(同趣旨 3 件)
- ・冬季の練習時間が確保されれば必要ない。(同趣旨 2 件)
- ・外部指導者が主体で部活動にも口を出す。(同趣旨 2 件)
- ・地域活動なのか、部活動の延長なのか区別が難しい。
- ・中学生の活動は 19 時までにするべき。

《必要な活動であり規制の必要はない。》(108 件)

- ・練習時間の確保のために必要。(同趣旨 17 件)
- ・競技力低下につながる。技術を身につけるために必要。
(同趣旨 16 件)
- ・自主的な参加の活動に規制は必要ない。(同趣旨 13 件)
- ・長年の努力で普及浸透した活動であり必要(同趣旨 12 件)
- ・地域の受け皿がない、地域の実情に沿って進めてほしい。
(同趣旨 12 件)
- ・四原則が整っている適切な活動まで廃止する必要はない。
(同趣旨 11 件)
- ・土日の有効活用など良い面がある。休日の活動減少は、
生徒指導面で心配がある。(同趣旨 10 件)
- ・部活動との連携や区別を行えば問題ない。(同趣旨 7 件)
- ・過熱化しているものだけ指導すればよい。(同趣旨 6 件)
- ・部活動が衰退し、クラブへ入る子が増える。(同趣旨 2 件)
- ・活動によるマイナス面も個人の責任。(同趣旨 2 件)

《廃止に伴う問題点がある》(16 件)

- ・部活動が増え、教員の負担増につながる。(同趣旨 6 件)
- ・中体連以外の大会、合宿、遠征等ができなくなる。
(同趣旨 4 件)
- ・地域のスポーツクラブに投げ出すのは無責任。
(同趣旨 2 件)
- ・地域指導者との連携が取りにくくなる。
- ・地域の社会体育は保護者の負担増につながらないか。
- ・活動費の徴収が困難に。学校予算では用具等が買えない。
- ・熱心にスポーツ活動を行うのは時代錯誤なのか。

【その他の活動に対するご意見】(33件)

意見概要	意見に対する県教委の考え方
<p>○小学生期のスポーツ活動について(12件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が過熱化している。燃えつき症候群やスポーツ傷害が低年齢化している。(同趣旨6件) ・小学校期やそれ以前の遊びや運動経験へ支援が必要。(同趣旨4件) ・ゴールデンエイジの指導が肝心。指導の体系化が課題。 ・小学生にも生活リズムの中での運動を考えていくことが大切でないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生期の発達段階に応じた適切なスポーツ活動について、今後、さらに検討してまいります。
<p>○中学校文化系部活動について(12件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化系の活動実態にも深刻な問題がある。(同趣旨6件) ・文化系にも同じ方向性(基準)を適用することが大切。(同趣旨6件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化系の活動の課題について、今後、さらに検討してまいります。
<p>○地域の社会体育活動について(9件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ活動においても指針は適用されるのか。(同趣旨4件) ・地域の社会体育活動に対しても基準が必要。(同趣旨2件) ・県教委の社会体育の定義とは何か。 ・運動部活動の延長上の社会体育との線引きは可能か。 ・ウインタースポーツのように地域に支えられた活動の充実を願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後策定する指針は、地域の社会体育活動に直接適用するものではありませんが、心身の成長過程にある中学生のスポーツ活動が適切で効果的な活動となるよう、理解と協力をお願いしたいと考えております。